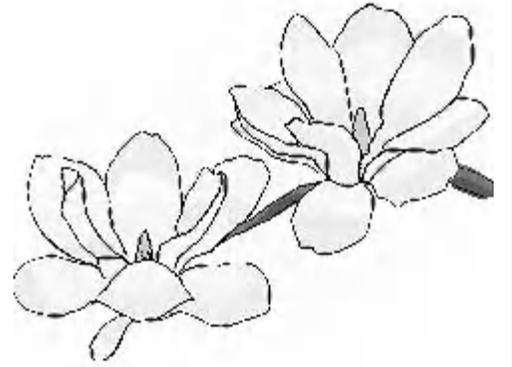


碧水だより



—めざす子ども像—
・仲よくする子、かしこい子、たくましく生きる子

平成18年 4月25日 第 1 号
阿蘇市立碧水小学校 羽 山

二十九名の新入生を迎えました

新入生二十九名が入学し学校もにぎやかで、学校の雰囲気も元気がいっぱいになりました。四月は行事がとても多い時期です。入学式、歓迎遠足、家庭訪問、スポーツテスト、PTA総会、歓迎会とつぎつぎに行事があります。職員もよくまとまり子供たちを中心に家庭や保護者と協力して頑張りたいと思っています。今年度もよろしくお願いいたします。



入学式にあたり新入生と在校生に次のような話をしました。校長先生からのお願いの一つ目は「お友達をたくさん作って下さい。そして早く仲良くなつて下さい」ということです。そのためには自分のことだけでなく、友だちのことを心配してあげられる人になってください。友だちと仲良くなると学校が楽しくなりますという話をしました。



いさつをするようにしました。あいさつがきちんとできる人は相手にも大切にされ友だちもたくさんできますと話しました。

三つ目は「うそをつかないようにしましょう」と話しました。私たちは困ったときや叱られそうなきにうそをつきませんが、うそは自分や周りの人を不幸にします。

私たちは碧水という名前のように「澄み切った水のような清く正しい心」をめざし、その名前に負けない美しい心を育てましょうと話しました。



新任の先生の紹介

小出哲也先生

はじめまして、この四月から碧水小学校の五年生を担当させていただきます。一年間、県庁の高齢者支援総室というところで、高齢者の健康福祉に関する仕事をしてきました。学校現場とは全く違った仕事をさせていただきましたのでうまく子どもたちと接することができたか不安をもって始業式を迎えました。五年生をはじめ元気いっぱいの子供たちと、そんな不安は吹き飛んでしまいました。

一昨年度までお隣の内牧小学校に七年間勤務しておりましたので、これまでどこかでお会いしたり、お世話になったこともあるかもしれません。

阿蘇山が目の前に迫るこの素晴らしい景色の碧水小学校で一杯頑張りたいと思いますので宜しくお願いします。



小出哲也先生

赤尾薫先生
宇土市の宇土東小学校から転職してきました。

阿蘇の学校に勤務するのは初めてですが職員室から見える山の美しさに感動しました。音楽が大好きなので子どもたちと一緒に歌ったり踊ったりするのが楽しみです。どうぞよろしく



赤尾 薫先生

しく願います。

年度当初にあたり昨年度の反省をもとに今年度の課題を分析しました。年度末に実施しました保護者や職員への学校評価アンケートをうけて次のような現状と課題をを認識しています。今後の具体的な取り組みは、その都度PTAや地域の方々と協力しながらご提案したいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

現状と課題

- 1 児童相互の思いやり、信頼関係が若干希薄であり、心の荒れや友達関係でのトラブルが見られる。学級集団作りや自立した児童の育成が課題である。
- 2 保護者アンケートでは、学校での子どもたちの姿にプラス面の評価が寄せられ、励まし合う姿や助け合う姿が見られるようになった。
- 3 学力の育成では、学力成就値が改善されており、国語算数については大きく伸びている。
- 4 学校統合2年目であり、地域相互や保護者間、児童相互の人間関係に配慮した運営に心がける必要がある。

このような実態をふまえ、次の4点を重点課題としました。

- 1 地域の歴史、伝統と文化を尊重した教育活動、「ものづくり」活動を中心とした体験的な学習を行い、特色ある学校づくりを目指す。
- 2 学習規律と学習訓練を徹底し、互いに学びあう学級の雰囲気づくりを行う。
- 3 話す、聞くを中心課題として、国語力とコミュニケーション能力の育成のため「伝え合う力の育成」を研究テーマとして、指導と評価の一体化の研究を深める。
- 4 人権を尊重した仲間づくりを行い、人権教育を再構築する。



5 月 行 事 予 定 表

日	曜	校 内 の 行 事	給 食
1	月	交通安全教室	○
2	火	生活集会	○
3	水	憲法記念日	×
4	木	国民の日	×
5	金	こどもの日	×
6	土		×
7	日		×
8	月	心臓検診	○
9	火	歯科検診	○
10	水	眼科検診 校内研修	○
11	木		○
12	金	歯科検診 郡市教育研究会総会	○
13	土		×
14	日		×
15	月		○
16	火	内科検診	○
17	水	職員会議	○
18	木	内科検診	○
19	金		○
20	土		×
21	日		×
22	月	委員会活動	○
23	火	縦割り班活動	○
24	水	校内研修	○
25	木	プール掃除	○
26	金		○
27	土	規模別ソフト	×
28	日	規模別ソフト	×
29	月	児童会総会	○
30	火	音楽集会	○
31	水	水難訓練	○

6月の予定 8日 耳鼻科検診 30日 校内童話発表会

PTA文庫の活用を!

PTA図書として今年度新しく購入した本がたくさんあります。

子育てが難しい、親のあり方、子どもの心がわからない等の声を聞きます。

また価値観の多様化とともに、非行や引きこもり、不登校、家庭内暴力など最近の社会的問題が他人事ではなくなっています。

そのような最新の家庭教育や子育て、親のあり方について書かれたとてもわかりやすく読みやすい本が揃っています。

今回はその中から「子育てハッピーアドバイス」という本を紹介します。スクールカウンセラーであり



医師である明橋大二氏が書かれた本です。とても読みやすくなりやすい本、子育てや親のあり方についてすっきりと整理させてくれる気がします。会議室（PTA室）に常備していますので是非読んでみてください。

「がんばれ」より、「がんばってるね」と認めるほうがいい

●がんばってるね

●がんばりなさい!

10歳までは徹底的に甘えさせる。そうすることで、子どもはいい子に育つ

甘えが満たされるとき

甘えが満たされないと

不信 怒り

甘えが満たされるとき

安心感

食育の重要性を再び!

家族で食事 発達を左右する

厚生労働省が二〇〇三年に調査した、子どもの発達に長時間保育はほとんど影響せず、家族で食事をしていくか、親に育児相談をする相手がいるかなどの要因が発達を左右するといった結果が出ています。

私たちは食事のしかたを軽視してはいますが、対人技術の発達や理解度が極端に遅れる割合が高くなるという衝撃的な結果です。

厚生労働省研究班が園児らを5年間追跡調査した結果、保育園で過ごす時間の長さは子どもの発達にほとんど影響せず、家族で食事をしていくか、親に育児相談をする相手がいるかなどの要因が発達を左右する。こんな結果をまとめました。

研究班は一九九八年から毎年、全国の夜間保育園約八十九所の園児三千人前後の発達調査と親のアンケートを実施。今回は九八年と二〇〇三年の調査にどちらも回答した百八十五人の発達と保育時間、育児環境などの関連を分析しました。

百八十五人中、一日十一時間以上の長時間保育の子どもは二十八人、それ未満の通常保育の子どもは百五十七人で、保育時間の長さではコミュニケーションや子どもの運動能力の差はありませんでした。

一方、家族で食事をする機会がめったにない子どもはある子どもより、他人の話し掛けに答えるなど対人技術の発達が遅れるリスクが七十倍、理解度が遅れるリスクは四十四倍高かったそうです。

また、育児の相談相手がいないう家庭の子どもは、指で物をつかむといった運動能力が遅れる傾向がみられました。

対人技術が七十倍、理解度が四十四倍、リスクが高い!